

2 業務日報

派遣された職員からは、現地での業務内容や状況等について、各所属等へ随時報告が行われた。ここでは、健康福祉局等から派遣された保健師、社会福祉職等の日報から一部を抜粋したものと、危機管理室において各避難所から日々、電話による聞き取りを行い、各避難所の状況把握を行った内容を一覧にして掲載している。なお、被災者の個別配慮事項等に関することは省略した。

(1) 保健師等派遣職員活動報告書まとめ

(「項目○」は業務内容、「項目●」は現地状況等に関すること。)

日付	活動内容及び支援先の状況等
第1班 4月19日 (発災から 5日目)	○被災地へ出発。 ●熊本市内の市電は運行している。 ●宿泊施設までの道中は瓦礫の山だった。
4月20日	○熊本市保健所にてオリエンテーションを受ける。 ○避難所3箇所を巡回し、避難者に声かけを行い健康チェックと健康相談を実施。 ○熊本市の保健師1名が同行。 ●避難所には日中は30～50人の避難者が滞在している。 ●頭痛やめまい、不眠、血圧上昇を訴える方が多くいた。 ●エコノミークラス症候群の疑いで緊急搬送された方が2名。 ●夜間には避難者数は300～400人となり夜間の健康チェックの必要性を感じた。
4月21日	○避難所3箇所を巡回し、1箇所20～30人の健康相談を実施。主訴に応じ、血圧測定や医療機関を紹介する。 ○熊本市の保健師1名が同行。 ○エコノミークラス症候群のチラシを体育館に掲示し周知した。 ●避難所には100人前後の避難者が滞在し、高齢者が多い。 ●疲労や頭痛、不眠、不安を訴える方が多くいた。 ●高齢者のデイケア、精神科のデイケアが再開し始めている。
4月22日	○中央区役所で打ち合わせを行う。 ○熊本市保健師とチームを組み、川崎市職員は手分けして避難所を計5箇所巡回。 ●避難所は場所により10人～300人の避難者が滞在している。 ●重症の心臓弁膜症の方も避難していた。 ●腰痛や下肢の痺れなどの症状を訴える方も多かった。 ●シップ菓の希望も多かった。
4月23日	○中央区役所で打ち合わせを行う。 ○避難所を4箇所巡回し、基本的に避難者全員に声かけを行いながら健康相談を実施。

	●避難所は場所により１０人～２００人の避難者が滞在している。 ●医療機関が開院しており、継続治療の必要な方は受診している。 ●お薬手帳を持参すると薬局で薬をもらうこともできるようになっている。
4月24日	○中央区役所で打ち合わせを行う。 ○避難所１箇所を巡回。 ○第２班への引継ぎを行った。 ●避難所は約２００人が滞在している。 ●子供達は家に入るのを怖がっていた。 ●避難所の出入りが土足であったため、ノロウイルス等の感染症対策の必要性を感じた。

第２班 4月25日	○中央区役所にてオリエンテーションを受ける。 ○避難所２箇所、車中泊の方が多く滞在中の公園４箇所を巡回。 ●避難所によっては滞在者のいない場所もあった。 ●高血圧、Ⅰ型糖尿病、膠原病の方も避難していた。 ●医師チームとの連携を取り、避難所の全体像の聞き取りの際に同席し対応した。 ●ＤＰＡＴも巡回しており、対応が必要な方を見つけた場合は区役所経由で連絡することとなった。
4月26日	○前日の巡回避難所と個別ケースについて申し送りを行った。 ○避難所３箇所を巡回。 ●避難所については縮小傾向にあるように感じた。 ●熊本市から、避難者が「避難世帯カード」を書いているか巡回時に確認してほしいとの依頼を受けた。
4月27日	○避難所１箇所を巡回。 ○車中泊の避難者への対応を行った。 ○熊本大学医学部附属病院、熊本市ボランティアセンターを視察。 ●避難所生活の疲れや、避難所に長くいることの遠慮から自宅に戻る方が増えている。 ●余震を恐れて日中のみ避難所を利用する方がいる。
4月28日	○中央区役所で打ち合わせを行う。 ○避難所２箇所を巡回。 ○川崎市持参のマスク等を中央区役所に届けた。 ●避難所として指定は受けていない施設の巡回を実施。 ●避難所の水道が完全復旧しておらず、感染症対策が必要な状況であった。
4月29日	○中央区役所で打ち合わせを行う。 ○熊本県庁、避難所１箇所を巡回。 ○第３班への引継ぎを行った。 ●熊本県庁については、避難所ではないが宿泊場所として提供している。 ●避難所には高齢者の割合が多い ●下肢の痛みで移動が困難な方や高齢者が多く、運動機会が少ないため便秘になりやすい。

3 班 4 月 30 日	○中央区役所にて打合せを行う。 ○本日より避難所世帯調査票により避難所滞在理由、避難所退所後の意向調査実施 ○避難所 3 箇所を巡回。 ●ボランティアセンターの電話連絡先を増設。メールも新設された。 ●今後、避難所は統合され縮小される方向。
5 月 1 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○避難所 3 箇所を巡回し、名簿リスト、避難所世帯調査票により避難所滞在理由、避難所退所後の意向調査を実施。 ●熊本市によると、要援護者調査名簿者のうち、10%の面接調査ができた。そのうち約50%が要対応者であった。 ●避難所での要援護調査が全避難所分終了。
5 月 2 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○中央区役所で情報リスト・避難所世帯票等の照合作業。
5 月 3 日	○中央区役所にて打合せ、他都市と情報交換を行う。 ○熊本市保健師 3 名と校区ごとに個票の仕分け、リストと個票の照合作業。
5 月 4 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○校区担当保健師と避難所及び家庭への訪問を実施。 ○第 4 班への引継ぎを行った。 ●避難所が集約されつつあり、学校も再開し始めている。

第 4 班 5 月 5 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○校区担当保健師と訪問対象世帯のピックアップ、支援計画、支援方針の検討。 ○校区担当保健師と避難所及び家庭への訪問を実施。 ●福祉避難所希望者について、申込み支援を熊本市保健師が実施。
5 月 6 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○訪問活動の記録整理、エクセル台帳への入力。 ○エクセル台帳、校区別紙台帳の整理作業。 ○前日に確認できなかった家庭への訪問を実施。 ●避難所で食中毒の疑いが発生し、23名が救急搬送。
5 月 7 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○エクセル台帳をもとに福祉情報システムに対応記録の入力。 ●避難所の「ノロウイルス対策」掲示確認。
5 月 8 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○妊婦への体調確認の電話フォローを行った。 ○前日に確認できなかった家庭への訪問を実施。 ○健診等のパンフレット・資料準備。 ○福祉情報システムの入力。
5 月 9 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○妊婦に体調確認の電話フォローを行った。 ○福祉情報システムの入力。 ●市内の公立学校が再開した。

	●区役所の通常業務も今週から可能な範囲で再開。
第5班 5月10日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○妊婦に体調確認の電話フォローを行った。 ○福祉情報システムの入力。 ○自主避難所ケースへの訪問を実施。 ●拠点避難所が集約され、拠点避難所に移れない方が自主避難所へ移っている。
5月11日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○電話不在であった妊婦に電話再フォローを行った。 ○電話不在者リストの作成。 ○妊婦及び乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システムの入力。
5月12日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システムの入力。 ○電話フォロー件数、不在件数の集計。 ●妊婦及び乳児電話フォローの際、行政等に遠慮して相談を控えている保護者もいた。
5月13日	○中央区役所にて打合せ。他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ○電話フォロー件数、不在件数集計。
5月14日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ○電話フォロー件数、不在件数の集計。 ●外気温が上昇しており、職員も暑さ対策が必要。

第6班 5月15日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○D P A Tの避難所巡回に同行。 ○健康相談票、健康調査票名簿の作成。 ●避難所の暑さ対策が必要。人の多い避難所や体育館などは温度調節や害虫対策が難しい状況。 ●派遣者向け福祉情報システムマニュアルが作成された。
5月16日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○避難所2箇所を巡回、健康相談を実施。 ●避難所で夜間巡回の希望が出る。
5月17日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○避難所巡回の記録作成。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。
5月18日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。

	○避難所 3 箇所を巡回。
5 月 19 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ○第 7 班へ引継ぎを行った。 ●避難所は避難者が減少傾向にある。特に拠点避難所でない避難所は食事の提供が無くなったり、運営スタッフの減少により縮小傾向にある。 ●避難所運営職員も被災者であり、ストレスが高い。

第 7 班 5 月 20 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ●電話フォローの約半数は不在。今後も継続していく。
5 月 21 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○避難所 2 箇所を巡回し、常駐看護師から話を伺うほか、避難者へ健康相談を実施。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。
5 月 22 日	○中央区役所にて打ち合わせ、他都市との情報交換を行う。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ○電話フォロー集計作業。
5 月 23 日	○避難所 5 箇所を巡回し、環境衛生調査・個人聞き取りを実施。 ○他都市と情報交換を行う。
5 月 24 日	○避難所 3 箇所を巡回し、環境衛生調査・個人聞き取りを実施。 ○他都市と情報交換を行う。 ○第 8 班へ引継ぎ。

第 8 班 5 月 25 日	○中央区役所にて他都市との情報交換を行う。 ○避難所 2 箇所を巡回し、環境衛生調査を実施。
5 月 26 日	○中央区役所にて他都市と情報交換を行う。 ○避難所 2 箇所を巡回し、環境衛生調査を実施。 ○乳児電話フォローを行った。 ○福祉情報システム入力。 ○C ネットシステム入力。 ○厚生労働省による意見交換会出席。 ●避難所ごとで物資の差がある。 ●避難所では衛生面について注意はしていたが、室温（熱中症）はあまり気にしていない様子。
5 月 27 日	○中央区役所にて他都市と情報交換を行う。 ○避難所 2 箇所を巡回し、環境衛生調査を実施。 ○C ネットシステム入力。

5月28日	○社会福祉職・保健師1名ずつ2班体制で福祉避難所を計6箇所巡回し、避難者との面接を行った。 ●震災前の生活状況が全くつかめていない避難者がいた。
5月29日	○社会福祉職・保健師1名ずつ2班体制で福祉避難所を計4箇所巡回し、避難者との面接を行った。 ○午後は社会福祉職チームと保健師チームが分かれて活動。
5月30日	帰川。

(2) 社会福祉職等派遣職員活動報告書まとめ

日付	活動内容及び支援先の状況等
第2班 6月6日～ 6月12日	○戸別訪問について打ち合わせ。 ○福祉避難所で状況確認、聞き取り調査を実施。 ○福祉避難所入所者リストの更新・確認作業。 ○戸別訪問の拠点本部の運営業務。 ●罹災証明書の発行が遅れているとの声が多く、次に展開できない方が多かった。 ●福祉避難所に残る方は、罹災証明書の発行待ち、自宅の修繕待ちや経済的負担から踏み出せずにいる方、精神的な不安や障害特性から物件とのマッチングができない方などさまざまな理由があった。 ●福祉避難所の行き先が整理されつつある。
第3班 6月12日～ 6月18日	○戸別訪問実績についてシステムと紙ベースの突合作業。 ○福祉避難所で状況確認、聞き取り調査を実施。 ○相談支援機能強化会議に参加。 ○戸別訪問の拠点本部の運営業務。 ●不眠を訴える声を多く聞いた。
第4班 6月18日～ 6月24日	○福祉避難所で状況確認、聞き取り調査を実施。 ○活動報告の集約作業。 ●活動拠点の職員の疲労感を強く感じた。 ●派遣期間中、大雨・雷雨が続いており、大雨洪水警報も発令された。また一部地域では避難勧告が出された。 ●戸別訪問調査の長期化に伴い、拠点・訪問業務を行う相談支援事業所職員の負担が増加し、事業所によっては本来業務への影響も無視できない状況と思われた。
第5班 6月24日～ 6月30日	○福祉避難所で二次調査を実施。 ○拠点荷物の搬送作業。 ○戸別訪問の拠点本部の運営業務。 ●二次調査は不在のケースも多い。

（３）避難所運営状況報告書まとめ

危機管理室において、各避難所に派遣された職員から毎日、電話による聞き取りを行い、各避難所の状況把握を行った。その内容を一覧にしたものである。

■支援避難所一覧

一新小学校／中央区新町 3－10－45
京陵中学校／熊本市中央区京町本丁 1－14
慶徳小学校／熊本市中央区山崎町 72
五福小学校・五福公民館／熊本市中央区細工町 2－25
江原中学校／熊本市中央区琴平 2丁目 9－59
春竹小学校／熊本市中央区琴平 1－9－43
西山中学校／熊本市中央区島崎 1－27－1
碩台小学校／熊本市中央区井川湊町 4－8
帯山小学校／熊本市中央区帯山 4－11－11
帯山西小学校／熊本市中央区帯山 1－29－8
必由館高校／熊本市中央区坪井 4－15－1
竜南中学校／熊本市中央区坪井 4－16－1
壺川小学校／熊本市中央区壺川 1－4－5
はあもにい／熊本市中央区黒髪 3－3－10

■熊本市中央区内避難所の分布（14避難所）



□ 避難所運営状況報告書（一新小学校／中央区新町３－１０－４５）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○夜間には３００名程度の避難者があり、野外のテントにはペット同伴の避難者もいる。 ○避難スペースは、体育館と新館に分散しており、それぞれ高齢者や子育て世代、ペット同伴世帯がある程度分かれて滞在している。 ○発災当初の混乱については、名取市職員が整理したとのこと。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少を見せ、４月３０日時点で２００名にまで減少した。 ○学校再開に向けて、避難者を体育館に集めるよう声かけを開始した。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者はさらに減少を見せ、５月３日時点で１００名にまで減少したが、近隣の公園に避難している人も２０名程度いる状況。 ○避難所に仕切りはないが、近所の知り合い同士であるため良好な関係の様子。 ○余震不安を理由とする屋外避難者も若干見受けられた。 ○インフルエンザに罹患した避難者がいたが、周囲に影響することなく回復した。 ○５月１日には、ペット同伴の避難者も帰宅した。 ○避難者への意向調査の結果、５月４日の時点で２４名の避難者が一新小学校への残留を希望した。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○避難者は、ガスの復旧によりさらに減少を見せ、約３０名程度となる。 ○避難者の減少と学校再開への準備を理由に、避難スペースの集約が行われ、体育館に避難者すべて集められた。なお、体育館は学校再開後も避難スペースとしての利用が決定した。 ○５月１０日に予定通り学校が再開した。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○避難者は、学校再開に伴いさらに減少し、約２０名程度となった。 ○避難者は体育館に滞在しており、拠点避難所への移動は希望していない。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○発災初期には熊本市の職員はおらず、熊本市を応援した名取市の職員が４名で対応した。職員で６時間ごとにローテーションを行い、２名が常駐する体制をとったとのこと。なお、名取市の支援は川崎市職員に引き継がれる４月２７日まで継続した。 ○学校は、校長をはじめとして主体的に避難所運営に関わった。具体的に業務としては、ボランティアの受け入れなどを行っていたようだ。 ○保健師の巡回が行われていた。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○この時点で、熊本市の職員１名が２４時間常駐となったが、派遣される職員は全く違う職員が来るため、十分な引継ぎが出来なかった。 ○学校は、発災初期から引き続き、校長中心に主体的に避難所を運営した。

	○自衛隊が支援物資を運んでくるようになった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○4月29日夜に、学校・自治会・川崎市により避難者への説明会を実施し、以下の体制となった。 ①24時間の受付体制を、29日の夜から7時～23時の対応に変更する。 ②避難者とボランティアセンターとの仲介を行う。 ※30日には、16人の避難者が自宅の片づけに80人のボランティアを活用するに至る。 ③5月4日までに3ヶ所の避難場所を体育館に集約する旨、避難者に理解を求めた。 ※避難所では、教室や廊下で過ごす避難者とペットが課題となっていた。 ○熊本市、学校、自衛隊、川崎市の支援体制は継続している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○学校再開を5月10日と定め準備を開始、5月9日に学校の夜間宿直が終了した。 ○熊本市、学校、自衛隊、川崎市の支援体制は継続している。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○学校は、昼間に校長や教頭が巡回に来るなどの支援を行っている。 ○熊本市、自衛隊、川崎市の支援体制は継続している。

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○新館のトイレは水が出なかったが、避難者がバケツで流して対応していた。 ○保育士や民生委員（主任児童委員）のキッズルームでの子どもへの対応が行われていた。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ボランティアの炊き出しが始まっていた。 ○自治会長が昼間の運営支援を開始した。 ○PTAによる運営支援が行われていた。 ○4月29日に炊き出しが終了し、支援物資の配布による対応となった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○5月2日に、自治会・民生委員・PTAの運営支援が終了した。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○物資の供給や受付窓口での対応、避難者数の確認（1日2回）や、ほ乳瓶の消毒などの雑務に従事した。 ○受付窓口には1名常駐させながら、常時2名の夜間宿直を熊本市と分担して行った。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○1日1回巡回してくる自衛隊とのやり取り（支援物資の注文依頼など）や、支援物資（消耗品・食料品）等の管理に従事した。 ○当初行き違いのあった地域と熊本市職員との関係仲裁し、関係改善を行った。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○支援物資（消耗品・食料品）等の管理や1日2回の避難者数確認、避難者の方からの相談を熊本市職員へ繋ぐ等の業務に従事した。 ○学校の再開に向けた、物資等の片付けも開始した。

第4陣 5月11日～ 5月18日	○従事内容は第3陣から変化なし。
------------------------	------------------

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水は出ているが飲用かどうか不明。 ○ガスは復旧していない。 ○コンビニや近くのファミレスは開いている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水道が利用可能となった。 ○ガスは28日に使用可能とのことだったが、復旧には至らなかった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○水道やトイレは利用可能だが、ガスの復旧度合いについては避難所ではわからないが、避難者の減少は避難者の自宅のガスの復旧が原因している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市から提供された公用携帯から、名取市の職員が区への定期連絡や物資の手配などを行う。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市の職員が派遣され、公用携帯により区への定期連絡や物資の手配などを行うこととなった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○5月11日に、熊本市から、避難者数や支援物資の報告を行うためのタブレットが支給された。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○本館に支援自治体職員用の部屋があり、就寝場所として予定していたが、他都市職員が引継後にも1泊したため、派遣初日の寝る場所が確保できなかった。 ○避難者と同じ食事（炊き出し）の提供を受けた。
------------------------	--

	○派遣当初は近くの銭湯に行く時間が無かったが、３０日になり、ようやく近くの温泉を利用することができた。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○数日に１回、車で１０分位の場所にある銭湯に行くことが出来た。 ○これまでほとんど仮眠が取れなかったが、２９日夜からの勤務体制の変更に伴い、校内に部屋を準備してもらうなどして、睡眠が可能になった。 ○就寝場所が体育教官室に変更となった。 ○食事は、炊き出しの終了に伴い、２９日朝から支援物資または近くのコンビニでの調達となった。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○食事は、支援物資または近くのコンビニで調達した。 ○銭湯へは、毎日通えるようになった。 ○５月８日からの就寝場所が体育館に変更となった。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○第３陣からの変化なし。

８ その他

第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○２７日深夜に熊本市職員と３人で災害物資を整理したところ、学校側から「余計なことをするな」と言われてしまった。 ○体育館にテレビを設置したが、避難者から「音がうるさい」とのことで、夜１０時には消すようにした。 ○避難所での消毒の徹底等、衛生環境に配慮している。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○学校再開と食中毒予防のため、次亜塩による床拭きや、校舎の消毒を行った。 ○学校再開に伴い、夜間はアラーム警備となるため、体育館以外のトイレを夜間に使用することが出来なくなった。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○引き続き、次亜塩による床拭きを行っている。 ○避難所は昼間にはかなり暑くなってきている。 ○体育館トイレの洋式化により、昼夜問わず、校舎のトイレは使用不可となった。 ○１７日１０時に地震があるとのネットデマにより避難者が微増した。 ○１７日に熊本市が不要な毛布の回収を行った。

以上

□ 避難所運営状況報告書（京陵中学校／熊本市中央区京町本丁１－１４）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○夜間には約５００人（昼間は約２００名）の避難者がいる。 ○避難者名簿を作成中で、学校が集約している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少し、４月２７日夜の時点で１０８名、２８日の夜には８９名となったが、在宅で食事時だけ来る避難者（在宅避難者と呼んでいる）が多く、１日３回の食事の提供については避難者数の２倍程度を用意している。 ○敷地内・周辺には２７日夜時点で４３台の車があったが、車中泊ではなく、避難者や在宅避難者の車である様子。 ○避難者名簿を作成中で、学校が集約している。 ○避難所のスケジュールは以下のとおり。 ①朝食（７時）②ラジオ体操（１０時）③昼食（１２時）④夕食（１８時）
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者は１日夜の時点で６７名、昼間は２０～３０名程度に減る。高齢の方が多い。 ○敷地内・周辺の車（３９台）の状況については第１陣と変化なし。 ○避難所の移転に向けた説明会を５月２日に２回（１６時３０分、１９時）開催した。 ※第１回目の説明会に参加したが、紛糾することはなかった。 ○避難所のスケジュールについては第１陣と変化なし。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○避難所移転に向けた説明会を受けて、５月４日時点で２０名が中央避難所に移動を決め、５０名が残留を希望した。 ○避難者は４日夜の時点（６３名）から徐々に減少し、中央避難所への移転者などもあり、１０日夜の時点では５０名程度に減少した。高齢の方が多い。 ○敷地内・周辺の車については約２０台の駐車があったが、学校再開に伴う校庭の使用のため、５月７日に学校活動に支障のない校庭脇への移動を行った。 ○学校再開に合わせ、避難スペースや受付など避難所機能を体育館に集約した。 ○避難所の閉鎖については残留希望者が多く見込みが立っていない。 ○５月９日から学校が再開した。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○避難者は減少し、５月１７日時点で３６名となったが、途中余震による一時的な避難者の増加などもあった。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○学校が職員を常駐させ、教頭先生をはじめ主体的な運営を行っている。炊き出しについても、学校や避難者が中心となり、支援物資（アルファ米や缶詰）から配給内容を考え、避難者に提供している。 ○北九州市が２名体制で支援している。熊本市の職員は派遣されていない。 ○学校主体の運営から住民主体の運営への移行を目的に、毎日朝と夜に運営委員会を開催している。 ※学校としても授業再開に向け、学校主体の運営からの脱却を模索している。
----------------	--

第1陣 4月27日～ 4月30日	○4月28日から、看護師2名が24時間常駐（2交替）するようになった。 ○学校の支援については全体調整と夜間宿直体制を実施している。 ○炊き出しについては避難者主体に移行した。 ○自衛隊が物資の搬入を行っている。 ※必要なものは注文票を自衛隊に渡し、翌日搬入してもらう。 ○毎日朝と夜の運営委員会は継続して実施している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○学校、看護師、自衛隊の支援については第1陣から変化なし。 ○避難所の縮小に伴う対応のため、5月3日から、熊本市職員2名が8時30分～21時まで派遣されることになった。 ○炊き出しについては今後縮小し、9日に終了することとなった。 ○毎日朝と夜の運営委員会は継続して実施している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○学校の支援については5月9日の学校再開に伴い宿直体制が終了した。 ○5月6日から支援物資を熊本市から依頼を受けた佐川急便が行うことに伴い、自衛隊の支援は終了した。 ○5月8日に看護師の派遣が終了したことに伴い、熊本市職員が24時間常駐（2交替）することとなった。 ○毎日朝と夜の運営委員会は継続して実施している。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○学校及び熊本市の支援については第3陣から変化なし。 ○毎日朝と夜の運営委員会は継続して実施している。

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○学校による運営だけでなく、避難者主体の運営も行われつつある。 ○地元議員からの差し入れの連絡もある。 ○民間企業が炊き出ししてくれることもある。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○炊き出しは1度だけNPOが行ってくれた。 ○卒業生(高校生10名以上)や近所の方がボランティアとして活動しているが、学校の再開に伴い、午前に来る人が減少している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○炊き出しの終了をもって卒業生や近所の方のボランティア活動は終了となったが、以後も継続して避難所を見に来てくれる人が数名いた。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○主な業務は、避難所での食事の準備、支援物資等の管理（搬入や荷卸し等）、様々な相談業務など。
第2陣 4月30日～	○第1陣の状況から変化なし。

5月4日	
第3陣 5月4日～ 5月11日	○炊き出しの終了に伴い、避難所での支援物資等の管理（搬入や荷卸し等）や避難者への声かけ、衛生管理が主な業務となった。 ○支援物資が余剰したため、拠点避難所への運搬なども行った。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣の状況から変化なし。加えて学校行事の手伝いなども行った。 ○5月13日から夫婦喧嘩をする避難者のため夜間対応も復活した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水道水は濁っていて飲めないが、トイレは使用できる。 ○ガスは使えない（近日中に復旧する見込み）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ガスが復旧した。 ○近所のセブンイレブンは利用できる。 ○水道の状況（濁りあり、トイレは使用可）については変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。 ○水道水については、熊本市による検査しているため飲んでも大丈夫と言われているが、かつて濁っていた水であるため、引き続き飲用としては使用していない。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣の状況から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市から提供された公用携帯から、北九州市の職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市から派遣された看護師が、公用携帯により区への定期連絡や物資の手配などを行うこととなった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○熊本市職員が、公用携帯により区への定期連絡や物資の手配などを行うこととなった。 ○5月10日に、公用携帯に加え、職員用のタブレットが配給された（避難所の人数把握及び管理に使用すること）。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○食事は避難者と同じものの提供を受けている。 ○体育館脇の体育教官室を使わせていただき、23時～5時まで就寝出来ている。 ○風呂は当初使えなかったが、28日にタクシーを利用（15分）し、近くの銭湯（有料）を利用することができた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○食事、就寝については第1陣から変化なし。 ○風呂については定期的に銭湯を利用できるようになった。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○食事については5月9日から炊き出しの終了に伴い、コンビニ等での自己調達か、支援物資をいただくこととなった。 ○就寝場所が学校再開に伴い、5月10日から理科室に変更となった。 ○風呂については第2陣から変化なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○食事についてはコンビニ等で自己調達している。 ○就寝、風呂については第3陣から変化なし。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難所の物資が不足している。すぐ隣にセブンイレブンがあるのに、周辺の人が物資を取りに来ていて。他の避難所では、スーパーの開店状況を張り紙して、外部の人に物資を配らないようにしているとの情報を受けて、この避難所でも検討を始めている。 ○精神疾患の方が周りの避難者を威嚇するという問題があり、熊本市の職員が対応した。 ※その後、警察に対応を依頼し入院となった。 ○衛生に関する注意事項について貼紙をし、調理場に入るときは使い捨ての手袋をするなど、衛生面には注意している。 ○避難所運営における各自（熊本市、川崎市、避難者など）の役割分担を明確に行っていく必要を感じている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○余震不安や生活困窮のため、多くの避難者が止むに止まれず避難生活を続けており、避難者が減少する可能性はかなり低い。 ○恐らく、仮設住宅が出来たときに、避難所の閉鎖となると思われる。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○寒暖差が激しいので、熱中症への対策を進めている（扇風機の用意など）。また定期的にペットボトルの飲み物を配っている。 ○大きな余震が来るというネットデマが流行り、一時的に問い合わせが増えた。

以上

□ 避難所運営状況報告書（慶徳小学校／熊本市中央区山崎町 7 2）

1 避難所（避難者）の状況

現地視察時 4月23日	○夜間約600人（昼間約200名）の避難者がいる（一時は1,100人に達した。）。 ○避難所運営の主体は地元消防団の方が行っている（消防団施設が学校と併設）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○4月27日にガスが復旧したため、避難者は減少し、4月27日夜の時点で224名、29日の夜には131名となったが、周辺のマンションの水圧が低く、夜は避難所生活をしている方が多い。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難者は4月30日夜の時点で92名、5月2日から5月4日には登録者数は52名となる（日中は26名程度）。 ○5月2日には炊き出しを終了し、アルファ化米やカップ麺を配布している。
第3陣 5月4日～ 5月10日	○5月4日以降は20名～25名程度の避難者数であり、避難所は体育館のみを利用している。 ○5月8日に避難所を廃止する方向で動き始めている。

2 公的機関の支援状況

現地視察時 4月23日	○熊本市が1名体制（朝夜で交替）で支援している。 ○学校側は常時2名常駐している。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○体制は現地視察時と変わらず、そこに本市職員が加わる。 ○毎日19時頃に避難場運営会議を開催している。メンバーは、町内会、消防団、PTA、教員、市職員等。学校再開に向けて検討を開始した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○校長先生もしくは教頭先生がいずれか1名はいる。 ○熊本市は5月2日から日中のみ1名追加配置となった。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○学校及び熊本市の支援については第2陣から変化なし。

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○運営の主体である消防団の方のリーダーシップにより、協力体制が確立されている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難所開設時から継続して、消防団員の方がボランティアの調整や食事、個人的支援物資等の管理をしている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○炊き出し用の食材管理、炊き出しの実施、避難者の方からの相談への対応、物資の荷卸し等を行っている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況からほとんど変化なし（罹災証明・物資・荷卸し等）。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況を継続するとともに、5月10日からの学校再開に向けて、利用していた音楽室や各教室の清掃を行う。 ○5月8日14時に避難所が閉鎖となったため、その後は、避難物資の整理及び片付け等を学校の職員等と一緒にやっている。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月23日	○水は出ているが、水圧が足りない。トイレは使える。 ○ガスは使えない（近日中に復旧する見込み）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ガスが復旧した。 ○近所のコンビニは利用できる。 ○水道の状況については変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。 ○飲料水は引き続きペットボトルの水を利用している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○ライフラインはすべて復旧している。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月23日	○熊本市の公用携帯で、区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市から派遣された看護師が、公用携帯により区への定期連絡や物資の手配などを行うこととなった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○食事は炊き出しをいただくこともあるが、基本的には自分たちで調達している。 ○日中は2名、夜間は1名で対応。夜間勤務者は、「ウェルパルクまもと」で休むことにしている。 ○音楽室を提供してもらっている。 ○入浴については、近くに施設もなく、時間もないため利用できなかった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○食事、就寝については第1陣から変化なし。 ○風呂については定期的に銭湯を利用できるようになった。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○職員の休憩スペースとして音楽室を利用していたが、学校側より和室の提供受けたため、5月6日の夜間より利用している。 ○風呂については定期的に銭湯を利用できるようになった。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○学校再開に向けて避難場所を移動する予定（1階及び2階の教室の避難者は3階の体育館へ移動してもらう予定、また本部も現在の保健室から体育館のステージに移動する予定）。 ○避難場所の移動については4月29日の夜間より避難者の方へチラシを配り説明する（5月1日21時までの移動をお願いする。）。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○5月1日及び2日に、熊本市中央区の職員が避難所に関する説明会を実施した。内容は、応急危険度判定や罹災証明申請、ごみ処理などに関する説明と、避難先の意向調査などについて。 ○5月8日を目途に避難所の閉鎖に向け準備中との説明を中央区長が行った。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月8日14時をもって避難所を閉鎖した。 ○拠点避難所である「サンライフ」にて他都市からの引き継ぎを受けた。

以上

□ 避難所運営状況報告書（五福小学校・五福公民館／熊本市中央区細工町２－２５）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２３日	○昼は３００人、夜は８００人。公民館との複合施設のためか、避難者が多い。 ○発災当初は約１，５００人が避難した。避難者は思い思いの場所（廊下・教室等）で過ごし、現在もそのままの場所で過ごしている。ペットを連れてきている人もいる。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は、５月１日の朝の時点で２６７人と徐々に減少してきている。 ○避難者は依然として思い思いの場所（廊下・教室・体育館等）で過ごしており、ペットを連れてきている人もいる。 ○学校としては、授業再開に向けて、避難場所を縮小する動きがある。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者は更に減少し、４日の１５時時点で２０世帯となった。 ○熊本市から避難者に対し、学校再開に向けて、避難所の閉鎖することについての説明会を実施した。併せて避難者に対し新たな避難所の希望などの聴き取り調査を行った。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○５月７日に、１０日の五福小学校の再開に向け、隣接する五福公民館に避難所本部を移設した。 ○５月９日に避難所に隣接する公民館に避難所を移転した。 ○避難者は、９日の１９時現在で６９人となった（うち慶徳小学校の避難所から２０名、竜南中学校から１名を含む。）。 ○五福公民館が拠点避難所に位置づけられ、他の避難所から避難者が流れていることもあり、５月１１日の夜間で８０人（昼は２０名弱）と若干避難者が増加している。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○五福公民館のホールを物資の置き場及び運営本部として使用し、公民館の各会議室に避難者を収容している。 ○避難者は１７日現在で、夜間１００名（昼は３０名弱）となった。 ○各会議室の中にはペット可の部屋なども用意している。また、ペットは、最上階の階段踊り場にダンボールで囲った場所を設けており、その場所に置くことも可能としている（ペットのいる世帯は４世帯）。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２３日	○北九州市が２名で支援している。 ○学校が主体的に運営をしているので、避難者は多いが、運営はできている。 ○運営本部があり、先生が３交代で当直してくれている。食事の提供など、周知すべき内容を校内放送してくれる。 ○自衛隊も調理のみの支援だが、協力してくれている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○熊本市職員２名と川崎市職員が３名で対応しており、保健室に運営本部を設置している（熊本市職員は、一日２交替制で、７時３０分と１９時３０分に職員が入れ替わり、翌日、同じ職員が対応することにはなっていない。）。 ○夜間は、熊本市職員が仮眠で、避難者の対応を行っている。 ○学校では、校長先生及び教頭先生、先生の３名程度で対応してくれている。

	○夜間は、校長先生又は教頭先生のいずれかが対応している。 ○学校が、引き続き、食事の提供など、周知すべき内容を校内放送してくれる。 ○自衛隊も調理のみの支援だが、協力してくれている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○自衛隊の炊き出しが5月2日で終了した。今後、夕食はご飯だけの支給となる（駐屯地でご飯を炊き、各避難所に配給される。支給希望者は前日申し込み。）。 ○熊本市職員及び学校の支援は継続している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	【9日から五福公民館に移転】 ○5月7日に運営本部を校舎内の保健室から体育館内に移転した。 ○5月8日、五福公民館への避難所の集約に伴い、学校関係者は撤収した。 ○熊本市の職員が5月8日から事務職員となった。 ○9日以降、熊本市の職員が3名（保健師2、職員1）に増員された。 ○運営は、公民館の職員が中心に対応し、館長が避難所のリーダーとなっている。 ○熊本市職員の看護師ないし保健師2名が24時間常駐している。 ○相談員という位置づけの熊本市職員の事務職と、五福公民館の職員がローテーションで24時間常駐している（川崎市職員は夜間宿直1名を出しているため、3名でローテーションを組んでいる。夜間宿直は21時から翌朝8時30分まで。）。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣から変化なし。

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月23日	○地元高校生のボランティアも支援してくれ、物資管理班の仕事を手伝ってくれる。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○PTAの方が支援してくれており、避難者にはPTA会長もおり、避難所運営の中心となって対応してくれている。 ○地元高校生のボランティアも支援してくれ、物資管理班の仕事を手伝ってくれる。 ○避難所運営の中心となっている方々の一部が帰宅し始めている。避難者の方々は受動的なので、今後、中心的な方々が帰宅されると避難所の運営が困難になってくる。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○PTAは縮小体制となっている。今後は避難者の自主性に任せていく。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○昼食は原則、避難者が各自で対応することとなった。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○学校側からの依頼により、緊急的な対応や訪問対応（医師や看護師の訪問、ボランティア対応、報道対応など）を行っている。 ○他にはボランティアの一時受付や外部との交渉及び調整など。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○従事内容は第1陣から変化なし。 ○避難所の閉鎖に向けて、PTAとの内部調整を行っている。 ○川崎市職員の夜間対応は午前0時から午前6時まで。 ○5月8日以降、熊本市職員の担当が市立病院の職員から事務職員に変更になる。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○8日までは、第2陣から変更なし。 ○8日から熊本市職員の指示により、避難所の運営業務に従事するように変わってきた。主に食事の支給やごみ出し等の業務を行っている。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○主に食事の支給やごみ出し等の業務、物資の倉庫整理、ボランティアの対応などを行っている。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月23日	○水は使えないが、ガスは復旧している。 ○トイレも使えるが、雨水で流すタイプ。 ○コンビニはある。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水の飲用が可能となったが、トイレは相変わらず雨水で流す状況。 ○コンビニはあるが、知っているところが若干遠い。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	【9日から五福公民館に移転】 ○ライフラインに支障なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○第3陣から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月23日	○熊本市の公用携帯で、区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時と変化なし。
第2陣 4月30日～	○第1陣から変化なし。

5月4日	
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○熊本市の公用携帯は公民館が対応する。 ○タブレットは支給されているがシステムトラブルで発注出来ていない。 ○a uの支援により、W I F I 環境とテレビが設置された。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○運営本部である保健室で休息及び仮眠等をとっている。保健室にはベット（2台）及びソファがあり、それを使って対応している。なお、保健室には、多くの物資が置かれているため、床で寝ることは困難である。 ○就寝時間は0時～6時となっているが、明かりを点け、避難者への対応に備えている。 ○風呂はないが、28日に交代で銭湯に行った。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○食事は、基本的に自衛隊の炊き出しをP T Aの方に配膳していただいている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	【9日から五福公民館に移転】 ○生活環境には不自由していない。 ○風呂はないが、銭湯に行けている。 ○食事は、避難者への食事や支援物資、近くのコンビニなどから調達している。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○生活環境については第3陣から変化なし。 ○5月14日以降、職員の仮眠及び休憩場所として、会議室が提供された。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○様々な判断が本市職員に求められるが、本市職員は応援という立場であるため、熊本市職員による判断をお願いしている。 ○学校側と行政間（応援職員を含む）の情報共有・意思決定の過程に問題が内在している。 ○ごみの収集が始まった（ごみが大量に出ており、収集が追いつかない。）。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○今後、避難所の運営方法が日々変わっていくことから、指示されたことを受身で行動している人でなく、状況を見ながら、柔軟に対応できる職員が必要とされていくことになると感じている。 ○事前に、自分の後に派遣される人と話ができれば、本当に必要な引継ぎができる（各避難所の状況が異なり、本当に持参しなければならないものが違う。）。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○今後においても、引き続き、熊本市の職員が中心になって、川崎市の職員がサポートになる姿勢で対応していきたい。
第4陣	○避難所内に物資置き場所が足りない。原因として乳幼児が居ないにも関わらず

5月11日～ 5月18日	オムツが大量に余っているような状況と、こうした物資の引き取りには残数確認が必要であるため、そこまでの手間は割けない状況があり、余剰物資が放置されている。 ○公民館職員は地域の人との面識もあり、上手に運営している。
-------------------------	--

以上

□ 避難所運営状況報告書（江原中学校／熊本市中央区琴平２丁目９－５９）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○夜間には２５０名程度の避難者がいる（昼間は１１０名）。一時は８００名の避難者がいたとのこと。 ○１階の武道場と２階の体育館の両方に避難者がいる。また、高齢者や障がい者、ペットを連れた人などが同じ場所で生活している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少を見せ４月２７日には１５０名（夜間）、４月３０日時点で６０～７０名（夜間）にまで減少した。 ○武道場や体育館のほか、武道場部室を避難スペースとして追加した。他にも校舎２階の教室と、その他個室にも避難者がいる。 ○学校再開に向けて、学校（教頭先生）と熊本市職員と自治会の３者が避難所運営者として、体育館以外の部室や相談室等にいる避難者に対し、体育館に移動してもらうよう依頼を開始した。ただし、体育館が２階、武道場が１階であるため、体育館より武道場を希望する避難者が多かった。 ○避難所には依然として高齢者や障がい者、ペットを連れた人などが同じ場所で生活しているが、最後まで特に問題が発生しなかった。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者は若干の減少を見せ、５月１日に５０名にまで減少したが、その後は横ばいとなった。 ○５月１日から部活が再開、併せてグラウンド等を使用することとなった。 ○５月２日に避難所会議を行い、中学校内の１か所に避難者を集約するよう避難者に説明を行ったが、若干の避難者に受け入れてもらえない事態が生じた。 ○学校再開を５月１０日と定め準備を開始した。 ○避難者への意向調査の結果、９割の避難者が拠点避難所への移動を望まず、江原中学校避難所に留まることを希望した。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○避難者は５月５日１９時時点で４０名、５月８日１８時時点で３４名。 ○避難所内の居住スペースを１階の武道場に集約する旨の説明を行ったが、反対する避難者もいる。 ○５月８日に拠点避難所への説明が行われたが、全ての方が移転しない意向を示した。 ○５月９日に避難者が１８名と大幅に減少した。同日実施した武道場への集約に伴う停電（電気負荷が集中）が原因となった可能性がある。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○発災直後は学校が中心となり対応した。避難所の自主運営開始後も校長・教頭を中心に昼間５名、夜間２名の教職員を常駐させていた。 ○熊本市の職員が常時１名（朝夜で交替）対応していた。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○学校は、引き続き校長中心に主体的に避難所運営を行った（昼間２名、夜間１名体制）。 ○熊本市職員の支援体制は現地視察時と変わらず継続している。 ○自衛隊が定期的（毎日）に物資を運搬してきている。

第2陣 4月30日～ 5月4日	○熊本市職員の支援体制は5月2日から昼間に1名増員となり、避難所の集約に関する業務に従事した。 ○学校及び自衛隊の支援は第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○熊本市の職員は2名、看護師2名が派遣されている。 ○学校職員の従事体制は、夜間対応がなくなるなど縮小した。

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○元PTAの避難者を中心とした避難所の自主運営が始まっていた。 ○学校からの働きかけによる町内会の協力も始まっていた。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○第1陣から変化なし。家庭科室で炊き出しを調理している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第2陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○他の避難所で発生した食中毒の発生を受け、5月8日に避難者による炊き出し調理が終了した。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○川崎市の勤務体制（時間）は6時から24時。 ○主に夕食の手伝い及び夜間の巡回、被災者間のトラブル解消などを行っている。 ○避難所運営に関わるそれぞれの役割が明確でなく十分な管理ができていなかったため、マニュアルの作成を行った。 ○川崎市職員が常駐したことで、避難者からの問い合わせが増えている。 ○衛生管理に重点を置き、トイレ掃除を実施した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から業務内容に変化なし。 ○5月5日にボランティアの炊き出しの手伝いやトイレ掃除等を行った。 ○トイレ掃除については、順次被災者自身が行うよう働きかけている。 ○川崎市の勤務体制（時間）は6時から23時となった。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○マンションに水が来ておらず、それが理由で避難してきている人がいる。 ○トイレは使用可能。 ○都市ガスはまちまちだが、プロパンガスは復旧している。
----------------	---

第1陣 4月27日～ 4月30日	○マンションに水は来ているが水圧が弱いようだ。 ○都市ガスは大分復旧してきた。 ○トイレ、プロパンガスは使用可能。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。 ○コインランドリーが利用可能となっていた。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市から提供された公用携帯から、熊本市の職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○休憩や仮眠は校長室を利用させてもらっており、24時から5時40分まで就寝できている。 ○近くのスーパー銭湯が夜遅くまで営業しており、毎日利用している。銭湯の近くにコンビニもある。 ○学校職員用の食事を提供してくれている。 ○ホームセンター等もあいているので、日用品などの調達が可能。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○ゴミが溜まり始め、ハエなどが発生している（29日に回収）。 ○近くにある春竹小学校避難所と連携している。 ○風雨が強まっており、雨風をしのぐ対策に追われている。
------------------------	---

第3陣 5月4日～ 5月11日	○避難スペースを1階武道場に集約したため、2階部分の清掃をボランティアとともにいった。 ○隣接の春竹小学校避難所が閉鎖されたことに伴い、春竹小学校避難所の救援物資の一部が運び込まれた。
-----------------------	---

以上

□ 避難所運営状況報告書（春竹小学校／熊本市中央区琴平１－９－４３）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○運動場と校舎内に１５０名いる。なお周辺に自主避難している人は把握できないが、町内会を通じて支援している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○４月２７日に運動場と校舎内に１００人以下程度を確認した。高齢の方が多く、また囲いなどはない。 ○４月２８日には避難者が減少、夜間が約６０名、昼間は約３０名となったが、２９日には近所の炊き出しがなくなった影響か、夜間に約７０名と若干増加した。 ○５月１０日に学校が再開予定となり、避難所を集約するため、４月中に校舎内から避難者を体育館に移動するよう働きかけている。 ○車中泊の人にも、５月１日から体育館へ移動するよう案内を始めた。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○４月３０日には夜間約５０名、昼間約１５名となり、５月１日には夜間約４０名、昼間約１０名と減少した。避難者は徐々に自宅に帰り始めている様子。 ○５月２日に避難所移行説明会が開催された。その後熊本市職員が避難者に対して行った。希望調査の結果、半数は拠点避難所、半数は自宅への移動を希望している。 ○避難スペースは体育館のみを利用している。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○８日に避難所を集約し、閉鎖する予定となった。 ○５月５日朝の時点で約３０名の避難者がいる。夜間には２２名とさらに減少した。 ○避難者の今後の動向は、６割が自宅や知人の所に行く予定で、残りの４割は８日に拠点避難所（大江公民会館、サンライズ熊本、はあもにい、市立総合体育館）へと移動する見込みとなっている。 ○５月７日時点での避難者は朝１４名（宿泊者）、昼間は４名程度となっている。 ○避難所の集約により閉鎖した。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○北九州市が２名で支援している。 ○学校長の協力もあり、必要事項については学校が１日４回のアナウンスを行っている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○熊本市の職員が、昼は２名、夜は１名常駐することとなった。２８日の昼は１名のみ派遣された。 ○学校は、校長及び教頭が積極的で、朝や何か変化がある時に顔を出してくれている。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○５月２日から、熊本市の職員は、避難所移行調査のため、８時３０分～２１時の間は２名体制となった。加えて看護師２名も８時３０分～１８時の間に配置され、基本的に同じ人が勤務している（計４名）。なお、夜間は今まで同様、熊本市職員（消防）１名が配置されている。
第３陣	○運営体制は第２陣のときと変化なし。

5月4日～ 5月11日	○5月8日に、避難所の集約により、閉鎖となった。
----------------	--------------------------

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○防災士の資格を持つ町内会長が主体的に手伝ってくれている。 ○消防団も協力してくれていた（4月23日に撤収）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時と変わらず、町内会長の方が積極的に協力してくれており、1日4回のアナウンスもしている。また、夜間の受付も寝ずに実施していただいたが、体調を考慮し、昨夜は交代して帰っていただいた。 ○ボランティアニーズが増加し、対応する上記町内会長の業務量が多くなったが、他の複数の町内会長さんも協力し、地域の方を中心に受入れ準備を行っていただいている。 ○民生委員を中心とした炊き出しを行っている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○何名かの町内会長が中心となり、5月1日から、ボランティアの受入れを行っている。業務は主に、近隣住民の住宅で家具の片付けなど。 ○民生委員による炊き出しが4月一杯で終了する予定であったが、学校再開予定の5月8日まで実施される見通しとなった。

4 川崎市職員の従事内容

現地視察時 4月24日	○北九州市の業務を引き継ぐことになれば、対外調整や、物品搬入、炊き出しの手伝いなどが予想される。また避難所が縮小し高齢者の割合が高くなれば体力仕事が増える。 ○他に、夜中に避難者を救急搬送することもあるので、新たに24時間常駐する熊本市の職員だけで対応が難しければ支援する。 ○炊き出しは、献立を町内会が決めてくれる。なお最近、教育委員会に掛け合い、使用不可だったガスボンベが使えるようになった。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ボランティアの受入れや支援物資の調査（必要な物、要らない物）を主に行っている。 また、夜間の受付も実施している。避難所のトラブルはなくなっている。 ○困っていることはなく、重労働ではないが、夜間の対応が負担だ。町内会にお願いするのは負担になるので出来ない。 ○炊き出しは町内会の人が行っているため、手伝う必要はない。 ○避難所の縮小に向けて、学校や熊本市の職員と話し合い、避難所の自立を促している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣のときから変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣のときから変化なし。 ○5月5日に、高齢者への声かけや民生委員の手伝いを行った。 ○支援物資の調査や夜間受付の業務はほとんどなくなっている。 ○5月9日に、避難所の閉鎖に伴う撤収作業に従事した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水は使えないが、トイレは使える。 ○ガスも24日に復旧予定。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水は使える。トイレは使える。ガスが復旧し、家庭科室を使い炊き出ししている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○北九州市の職員が熊本市貸与の公用携帯を保持しているが、熊本市には掛けてもほとんどつながらないとのことだった。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市職員が、熊本市貸与の公用携帯を使用している。但しなかなか繋がらないため、総務課に用があっても、保護課にかけ取り次いでもらうなどしている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時は、23時～6時まで体育館内で避難者とともに就寝可能とのことだったが、睡眠時間の確保に向けては熊本市と調整している。 ○民生委員による炊き出しをいただいている。支援物資はふんだんにある。 ○夜間は、熊本市職員1名と川崎市職員1名が受付で対応しているが、夜の24時過ぎから朝の5時頃まで意外に出入りが多く、受付で仮眠をわずかに取れる程度。 ○約1キロ先にスーパー銭湯があるが、行くタイミングがない。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○民生委員による炊き出しは、近隣の避難所と比較しても良い環境であるとのこと。炊き出しの延長決定により職員への配給も継続することとなった。 ○銭湯は、避難所から歩いて10分程の所にあり、交代で入浴している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月4日から、夜間は熊本市職員（消防）1名が受付を実施し、川崎市職員2名は夜仮眠を取り、朝交代している。 ○食事については、避難者への炊き出しを優先し、次いで職員の炊き出しを行

	っているが、内容は非常食を暖めたり、味噌汁を作ったり、カップラーメンを作ったりという程度。
--	---

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市の職員が派遣されているが、職種の違う人が来ているため、継続して一つの避難所を担当しない弊害を熊本市の職員も感じている。このため、同じ人が継続して一つの避難所を担当するように区に要望している。 ○熊本県がラップボン（洋式）を置いていった。体育館のトイレは和式のため、お年寄りに好評だ。 ○以前から検討していた女性専用の更衣室ができた。 ○避難所のゴミの収集は当初あまり出来ていなかったが、回収頻度が上がり、きれいになった。但し、学校の外は収集なく、今後はいつ収集するか不明。 ○帰宅する人が支援物資を持って帰ることについてのいざこざがあった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○中央区には、避難所の状況等含め、引継ぎがスムーズに行われるためにも、同じ職員が、同一避難所を担当する様、改めて要望している。 ○衛生状態は、特に問題になっておらず、風邪を引いた人がいる程度。 ○ボランティアの受入が本格化する中で、支援が必要な所につないでいく仕組みを作ることが必要である。 ○5月2日の朝に避難者1名、夕方に新たに1名が救急搬送された。他にも、医療機関への受診が必要な人や、体調が悪い人がいる。全体的に高齢者多いので、今後、留意する必要がある。 ○米が足りなくなってきており、本日からアルファ化米の配布を予定。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○高齢者が多いため、避難者が時々救急搬送されている。5月5日の夕方にも、お年寄りが1名救急搬送された。

以上

□ 避難所運営状況報告書（西山中学校／熊本市中央区島崎１－２７－１）

1 避難所（避難者）の状況

現地視察時 4月24日	○夜間は130名、昼は40名の避難者がいる。但しガスが復旧すればかなり減ってくる見込み。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○29日時点で夜90名、昼50名となっており、夜間は減少傾向にある。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難者は2日19時時点で38名、3日12時時点で22名と減少した。 ○5月10日の学校再開に向け、体育館と武道館とに分散していた避難スペースを武道館に集約することとなった。このため5月2日に熊本市職員の説明会を開催し、武道館への移動を促した。 ○5月4日11時現在で避難者11人であった。今後の予定は未定であった。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○避難者はさらに減少し、5日時点で約10名、10日時点で3世帯9名となった。 ○避難者のうち小学生及び保育園児は、学校等が再開したため、それぞれ登校（登園）している。 ○ライフラインがほぼ復旧したため、避難所を離れる方が増加した。上記の避難者は拠点の避難所に行けないためこの避難所を利用している。また夜に避難所を利用している方は、子どもが夜怖がるのが理由のようである。

2 公的機関の支援状況

現地視察時 4月24日	○北九州市職員が2名で支援している。 ○学校の協力は、教頭先生が一人ですべて対応している状況。但し、先生は2人体制で当直していて、職員室に連絡すれば24時間対応してくれる。 ○自衛隊が朝・晩に炊き出しをしてくれている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市の職員2名が24時間常駐することになった。2人とも看護師で、18時から翌10時で交代しているが、女性のため、夜間の巡回に川崎市の職員1名が対応した。 ○校長先生、教頭先生が中心に対応している。先生は2人体制で当直していて、職員室に連絡すれば24時間対応してくれる。先生は、一人が電話番号で一人が仮眠している。 ○避難所の炊き出し及び自衛隊の炊き出しは30日朝に終了した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。 ○5月7日に、学校の先生が学校再開に向け、物資の片づけ等を行った。 ○5月8日から熊本市職員の派遣は1名に減員となった。 ○9日夜から学校関係者の支援は終了した。

	○11日の本市の避難所撤収後の避難所運営支援は、熊本市職員と民間のガードマンとで対応することとなった。
--	---

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○炊き出しの実施など、PTAを中心とした市民からの支援が十分得られている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○PTAを中心とした支援は、現地視察時から変化なし。 ○PTAを中心とした炊き出しの実施は、30日朝に終了した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者数の確認、仮設トイレの掃除及び処理が主な業務となっている。また熊本市の職員2名が24時間常駐しているが、全員女性であるため、夜間の巡回には川崎市の職員1名が対応している。 ○4月29日夜間の巡回で嘔吐した避難者がいたため、マットの撤去や嘔吐物の処理・清掃等を実施した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。 ○学校の先生と一緒に支援物資の整理、物資の片づけなどを行った。 ○5月2日午前1時30分頃にノロウイルス患者が1人発生したため、熊本市職員と一緒に対応し、本市職員は患者の隔離などをした。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。 ○学校再開に向けて、避難所内の片付けを行っている。5月7日に避難所を武道場に集約したが、体育館には荷物が残っており、10日に体育館の物資を武道館に運んだ。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水は出るが、ガスは復旧していない。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ガスも復旧し始めており、帰宅する人が出てきた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。

第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。
-----------------------	-------------

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○北九州市の職員が、熊本市の公用携帯で、区への定期連絡や物資の手配などを行っている。W I F I はよく繋がっていた。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市の職員が、熊本市の公用携帯で区への定期連絡や物資の手配などを行うことになった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○休憩・就寝は避難所の教官室を借り、交代で仮眠を取っている。 ○4月29日に避難所の近くの銭湯に入ることができた。 ○4月28日までは自衛隊の朝晩の炊き出しの提供を受けることができた。 29日からは、避難所近くのコンビニで調達している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○本市職員2人は、23時まで勤務しその後仮眠、翌3時に見回りし、4時から6時半まで仮眠、その後、業務に従事している。 ○5月3日は午前3時から6時まで仮眠が取れた。 ○5月3日に銭湯に行くことができた。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○銭湯には5月6日から毎日入浴できている。 ○睡眠時間も確保できており、職員の健康状態は良好である。 ○休憩・就寝場所に体育教官室を使用していたが、5月10日から武道館となった。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○この避難所は、ピーク時約1,500人の避難者がいたが、発災当初も自宅から食料を持ち寄り、避難者・学校・自治会・職員等が協力して乗り切ってきた経緯があり、それぞれの関係は良好であった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○5月2日1時30分頃にノロウイルス患者が1人発生、熊本市職員と一緒に対応した。本市職員は患者の隔離などを行った。 ○善意で炊き出しをしてくれていたグループがあったが、食品管理がよい加減で、ノロウイルスや胃腸炎の原因になった可能性が考えられた。

以上

□ 避難所運営状況報告書（碩台小学校／熊本市中央区井川湊町４－８）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２３日	○夜間には約８０人（昼間約３０名）の避難者がいる。 ○避難者の自主運営が進んできている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○４月２７日夜の時点で約４５名（昼間１８名）となっており、避難者は徐々に減少している。 ○避難者の名札を作成し、外出・帰宅の把握をしている。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○５月１日の時点で、夜間５０名（昼間は２０名）の避難者がいる。中央区役所の避難者受け入れ終了に伴い避難者が若干増加した。 ○なお避難所の避難者数の確認は、早朝、１３時（報告）、１９時（報告）、２２時の４回実施している。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○避難者は徐々に減少し、５月５日の時点で、夜間３６名（昼間は９名）の避難者がいる。昼間帯は自宅の片づけ等で避難所に不在となるが、夜間に作業を終えて戻ってくる方が多い。 ○５月６日の時点で、５月８日に避難所を閉鎖する旨の説明会を実施した。大きな混乱もなく、トラブルもなかったが、４割の避難者の行先が決まっていなことから、避難者は少ないものの、避難所の閉鎖は延長されることになった。 ○５月１０日の時点で、拠点避難所の定員超過により移動できない避難者７名（夜間）が滞在している。 ○５月９日に学校が再開し、１０日から通常授業となった。 ○５月１１日朝、川崎市職員の担当が終了した。
第４陣 ５月１１日～ ５月１８日	○熊本市職員のみに対応となる。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２３日	○学校の先生は１名以上職員室に常駐させ待機している。 ○熊本市の職員が１～２名派遣されている。 ○学校は、避難所の運営は自主的にできているが、様々な対応依頼が学校にきているので、川崎市の職員には、避難所運営の補助を希望している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○熊本市職員が二交替勤務で１名常駐している。 ○先生が勤務シフトを組んで対応している（夜間には他校の先生の応援がある）ほか、校長及び教頭先生が、頻繁に避難所の様子を見に来てくれる。 ○１日１回の自衛隊による物資輸送がある。避難所で必要な物は、自衛隊に伝えれば次の日に搬入される。 ○炊き出しは２９日に終了した。以降、支援物資（パン、にぎり）が配給されている。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○熊本市職員、先生の勤務形態に変化なし。 ○自衛隊の支援については、第１陣から変化なし。

第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月5日から熊本市職員が昼間帯に常時2名となった（夜間は1名体制）。 ○5月9日に自衛隊による支援物資の輸送が終了、以後は民間による輸送となった。
-----------------------	---

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月23日	○学校による運営だけでなく、避難者主体の運営が行われている。 ○PTAや消防団が避難所運営に協力している。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者主体の運用が行われている。 ○PTA会長が、朝昼晩と避難所の様子を見に来ている。また会長の知り合いの避難者が中心となって良好な避難所運営がなされている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○主な業務は、支援物資等の管理（搬入や荷卸し等）、様々な相談業務など。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況に加え、避難者の名札の管理（避難者数の把握）や、支援物資拠点（アクアドーム熊本）への支援物資の受け取りを行っている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況に加え、高齢避難者のトイレ等の介助を行っている。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○避難所の水は使用できる。電気も使用できる。ガスは復旧していない。 ○トイレは使えるが、体育館にはないため、避難者を校舎内のトイレに誘導する必要がある（特に夜間）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○ガスは一部が復旧した。 ○近所のコンビニエンスストアは利用できるが、商品が少ない。 ○水道の状況（トイレは使用可）については変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。 ○一部の飲食店は営業しており、食事は可能である。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月6日の時点で、ライフライン（電気、水道、ガス）は全て復旧した。 ○飲食店も通常営業しており、コンビニの商品も通常程度となった。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月23日	○熊本市職員が、公用携帯で区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時の状況から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○食事は避難者と同じ支援物資の提供を受けている。 ○近くのコンビニで自己調達することは可能である。 ○保健室の使用が出来るが、体育館で寝袋を使って仮眠をとっている。 ※熊本市の職員と交替で休憩をとっている。 ○近くの銭湯（徒歩10分程度）を利用することができる。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。 ○炊き出しは終了しているため、支援物資のみの提供を受けている。 ○外食は出来るが控えている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。 ○19時から翌朝7時まで、保健室で仮眠がとれる。（布団あり）

8 その他

現地視察時 4月23日	○避難所で2回も救急車を要請した避難者がいた（その後入院した）。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者の多くは、一人暮らしの老人が多く、地震の影響により家の中がめちゃくちゃであったり、夜に一人であることに不安を感じ避難所に身を寄せているようである。

以上

□ 避難所運営状況報告書（帯山小学校／熊本市中央区帯山４－１１－１１）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○昼間は１００名、夜間は２００名程度の避難者がおり、ペット同伴の避難者も同じ避難スペースにいる状況である。 ○避難者は、各教室で生活している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少し、４月３０日７時時点で４１名（教室３４名、車中泊７名）となった。 ○４月２８日１８時３０分から避難者向け説明会、２９日に教室割り振り、３０日割り振り決定の説明会を開催し、避難スペースを３教室に集約した。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者はさらに減少を見せ、５月２日時点で約２５名（教室約１０名、車中泊数台）となった。 ○５月２日に熊本市職員により拠点避難所に関する説明会を開催した。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○避難者は、さらに減少を見せ、１０名（男性３名、女性７名）程度となる。 ○５月７日時点で、１０名のうち８名は希望する避難所への移動が決定し、残り２名は第２希望のコミュニティ施設への移転を了承した。 ○５月１０日に学校が再開することとなったため、避難者への移転希望を確認し、８日に避難所を閉鎖することが決定した。 ○５月９日に避難所撤収作業を実施した。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○発災初期には熊本市の職員１名が朝夜交替で常駐していた。 ○学校、ＰＴＡ、大学生（県立熊本大）ボランティア、自治会が協力して「チーム帯山」を結成、主体的に避難所運営に関わっていた。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○２７日に熊本市の職員１名（朝夜で交替）と川崎市職員２名の３名体制となった。 ○「チーム帯山」の状況については現地視察時と変化なし。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○５月２日以降、熊本市の職員が２名に増員となった。 ○「チーム帯山」は継続して主体的に避難所運営を行っている。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○第２陣の状況から変化なし。

３ 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 ４月２４日	○学校、ＰＴＡ、大学生（県立熊本大）ボランティア、自治会が協力して「チーム帯山」を結成、炊き出しや物資管理など主体的に避難所運営に関わっている。炊き出し担当として地元議員も参加している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○チーム帯山の活動内容に変化なし。 ○４月３０日に炊き出しが終了し、支援物資の配布による対応となった。

第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○「チーム帯山」が主体的に避難所運営を行っているため、炊き出し及び物資管理等の支援を中心に活動を行ったほか、避難者数の確認なども実施した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○従事内容は第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○従事内容は第1陣から変化なし。 ○学校の再開に向けた、物資等の片付けも実施した。
第4陣 5月11日～ 5月18日	○8日の避難所集約・閉鎖に伴い、派遣終了した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水は出ているが水圧は低い。トイレは使用可能。 ○ガスは復旧していない。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水は出ているが水圧は低い。トイレは使用可能。 ○ガスが29日に復旧した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市の公用携帯から、熊本市職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時の状況から変化なし。

第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○川崎市職員用の就寝場所として放送室が提供されるなど、丁寧な対応を受けている。 ○睡眠時間は約4時間程度。 ○食事は避難者と同じ食事（炊き出し）の提供を受けている。 ○派遣当初は近くの銭湯に行く時間が無かったが、4月28日に近くの温泉を利用することができた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○睡眠時間は約4時間程度。 ○食事は30日の炊き出しの終了に伴い、支援物資または近くのコンビニでの調達となった。 ○数日に1回、銭湯に行くことが出来ている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○「チーム帯山」による避難所運営など、住民自治が機能していたと感じた。 ○避難所での消毒の徹底等、衛生環境に配慮していた。 ○初動期においては、学校長やボランティア代表など、一部の人に負担が集中している状況であった。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難所入口付近にアルコール消毒のスプレーが配置されており、衛生環境を保てる環境であった。 ○平常時からの地域のつながりの強さがあったように感じた。 ○体育館が被災したため教室での避難所生活となったが、段ボール等で仕切りを行うなどし、プライバシーの確保に努めていました。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○地域中心での避難所運営は統率がとれていた。

以上

□ 避難所運営状況報告書（帯山西小学校／熊本市中央区帯山１－２９－８）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２４日	○夜間約２００名、昼間約１３０名の避難者がいる。 ○避難者登録カードの記入を進めている（回収は４月２５日）。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少を見せ、４月２９日時点で５０名程度にまで減少した。 ○学校のいたるところで過ごしている避難者に対して、４月２８日に体育館へ移動するように体育館の仕切り作業を実施した。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○５月２日に説明会を開催し、避難者への意向調査を実施した。 ○避難者はさらに減少を見せ、５月３日時点で約２０名程度となった。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○５月６日１４時から避難所閉鎖・移転に関する説明会を開催した。 ○避難者はさらに減少を見せ、５月７日１４時時点で７世帯１１名となった。 ○９日に、校長、教頭の意向を受け避難所の移転について説明会を開催した。 ○５月１０日の学校再開に伴う、５月８日の避難所の閉鎖に向け、残る避難者を近隣のコミュニティーセンターで支援するよう調整し、結果的に１名の避難者が避難所閉鎖に合わせて近隣コミュニティーセンターへ移動した。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２４日	○北九州市の職員が常時２名常駐している。 ○学校職員は発災直後から積極的に支援している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○４月２７日から、熊本市職員１名、学校職員１名、川崎市職員２名の４名体制で避難所運営支援を行なっている。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○２日以降、熊本市職員２名、学校職員１名、川崎市職員２名の５名体制となった。
第３陣 ５月４日～ ５月１１日	○学校再開を５月１０日と定め準備を開始、５月８日に避難所閉鎖が決定した。 ○熊本市職員２名、学校職員１名、川崎市職員２名の計５名体制は継続している。

３ 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 ４月２４日	○自治会からの支援を得られている。受付や物資管理など、避難所運営に関わっている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○発災初期より、自治会や学校等が炊き出しなど、避難所運営を行っていたが、自治会の支援は２７日までで終了となり、２８日からは避難者による自主運営へと移行した。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○第１陣の状況から変更なし。

第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変更なし。
-----------------------	----------------

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○北九州市職員から業務を引き継ぎ、本部窓口の受付及び物資受け取り等の支援を中心に活動を行った。避難者数の確認も実施した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況に加え、学校の再開に向けた、物資等の片付けも実施した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月24日	○水は出ている。トイレは使用可能。 ○ガスは復旧していない。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水は出ているが水質検査を行っていないため、飲用には使用しておらず、手洗いも消毒液を使用している。トイレは使用可能。 ○ガスは27日に復旧した。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市の公用携帯を学校職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時の状況から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○川崎市職員用の就寝場所としての部屋は用意されていないため、体育館入口付近で仮眠及び休憩を取っていた。このため、睡眠時間はあまりとれていない。 ○食事は4月27日まで避難者と同じ食事（炊き出し）の提供を受けていたが、炊き出しが終了した28日からは、食事は近くのスーパーで調達した。 ○派遣当初は近くの銭湯に行く時間が無かったが、28日に近くの銭湯を利用することができた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○数日に1回、銭湯に行くことが出来ている。 ○仮眠場所をパーテーションの一角や舞台上とした。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○携帯電話会社から携帯電話の充電サービスを受けている。 ○避難所運営について、最初の1週間は学校職員、次の1週間は地元自治会、3週目からは避難者と変遷していった。住民自治が機能していたと感じた。 ○学校職員及び自治会の働きは避難所運営に大きく影響すると感じた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○この避難所は他と比較して良好な環境が整っていると感じた。 ・校長先生の発案により簡易間仕切りを設置していた。 ・避難者自ら生活ルールを作成・遵守し、自主的な運営が行われていた。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○支援物資が余剰気味となった際、学校長と自治会が連携をとり物資を配分したため、物資の保管等の問題は発生しなかった。 ○学校長及び自治会が連携を密にしていたことから、避難者同士のトラブルや苦情はほとんどなかった。

以上

□ 避難所運営状況報告書（必由館高校／熊本市中央区坪井４－１５－１）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２３日	○夜間に１００名程度の避難者がいる。 ○避難スペースは本館、武道館、車中に分散している。 ○体育館は天井に危険があり使用不可となり、数十人が隣接の竜南中学校に移動した。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少を見せ、４月３０日時点で約３０名にまで減少した。 ○避難者は比較的高齢者の方が多い。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者はさらに減少し、５月３日時点で夜間２７名（昼間１２～１３名）となった。 ○５月２日に中央区役所から今後の避難所についての説明を実施した。 ○５月３日から３日間、熊本市職員が避難所閉鎖後の移動先の相談を実施した。 ○５月４日に避難所の閉鎖についての説明を行った。
第３陣 ５月４日～ ５月８日	○避難者は、学校再開に向けて帰宅する避難者が増え、７日時点で１４名程度となった。 ○避難所を閉鎖するため、避難者へのアンケートを実施した結果、２世帯はこの避難所への残留を希望し、数世帯は集約される避難所に移転を希望、残りは帰宅を希望した。 ○５月８日に、集約避難所への移転または避難者の帰宅により避難者がいなくなった。 ○５月１０日に学校が再開した。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２３日	○指定避難所ではないため、当初はほぼ学校職員のみによる避難所運営を行っていたが、その後熊本市職員が１名常駐するようになった。 ○学校関係者は教員２名が３交代で２４時間常駐し、主体的に避難所を運営している。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○学校関係者及び熊本市職員の状況は現地視察時と変化なし。 ○自衛隊の物資配給が１日１回実施されている。このため、自力で物資集積所に取りに行くことはしていない。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○熊本市職員が日中は２名の常駐へと増員された（２１時以降は１名常駐のまま）。 ○熊本市職員に加え、５月２日から熊本市市民病院の看護師が８時３０分から１８時００分まで常駐し、避難者の健康相談等に応じている。 ○学校関係者は施設管理として教員１名２交代で２名が２４時間常駐する体制となった。 ○自衛隊の物資配給については第１陣から変化なし。
第３陣 ５月４日～	○学校再開に伴い、５月９日に学校の夜間宿直が終了した。

5月9日	
------	--

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月24日	○指定避難所でないこともあり、避難者や市民ボランティア等の協力はなかった。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○近くのうどん屋からの炊き出しの提供があった。 ○岩手中央病院の医療チームが巡回診療に来た。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣の状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者への食事の準備と配布、トイレ清掃（消毒含む）、ゴミの整理、避難者からの相談対応などの業務を行った。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の業務内容に加え、1日1回巡回してくる自衛隊とのやり取りや、要介護者の介助、物資の無断使用があることから夜間の支援物資見張りなどの業務を行った。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣の状況から変化なし。 ○酸素吸入器装着者の補助（1時間に1度確認）を行っている。 ○5月8日に、避難所閉鎖に向けた支援物資の整理や清掃等を行った。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月23日	○水は出していない。下水道は利用可能。 ○ガスの供給はまばら。 ○コンビニや近くのファミレスは開いている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○4月29日から水が利用可能になったが、飲料水としては使用していない。 ○必由館高校までガスは供給されている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市の公用携帯から熊本市職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○学校の事務室を使用させていただき仮眠を取った。 ○入浴はできなかった。 ○食事は、避難者と同じ食事（救援物資）の提供を受けている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○休憩はほぼなく、仮眠はピロティーで取っている。 ○5月1日から交代で休暇をとるようにし（4時間勤務シフト）、その間に銭湯に行った。 ○食事は第1陣と変わらず、避難者と同じ食事（救援物資）の提供を受けている。
第3陣 5月4日～ 5月9日	第2陣から変化なし。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○発災直後は、車での避難者が多く、車の誘導に追われたとのこと。また指定避難所ではないため備蓄食料が少なく、避難者は子供や高齢者に譲ることなく、早い者勝ちの状況であったとのこと。 ○避難所に派遣される熊本市の職員が日によって変更になるため、避難所運営に支障をきたした。 ○ボランティアの支援を希望したが、避難者が100人未満のため支援してもらえなかった。 ○給湯器が使用できたためご飯を湯せんすることができた。 ○日中と明け方の気温の差が大きい。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難者からのクレームや大きなトラブルもなかった。消灯等も問題なく行えた。 ○発災直後、インターネットにより、テレビ6台とメトロノーム100台を要求したところ避難所に届いた。避難所運営に関係ないものをネットで要望したことについて避難所運営者として学校関係者が責められていた。 ○野菜や果物類の配給もあったが調理が必要であり、食中毒対策として避難者に

	配らず廃棄した。 ○おにぎり等の消費期限が短く苦勞した。 ○支援物資が外に保管してあるため見張りが必要だった。
--	--

以上

□ 避難所運営状況報告書（竜南中学校／熊本市中央区坪井４－１６－１）

１ 避難所（避難者）の状況

現地視察時 ４月２３日	○夜間は２００人、昼は８５人の避難者がいる。 ○必由館高校から移動してきたため避難者が増えた。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○避難者は減少を見せ、４月３０日時点で約５０名となった。 ○上記以外に車中泊が１０人程度おり、４月２９日に車中泊の方のために校庭に区画（４０区画）を設けた。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○避難者はさらに減少し、５月４日時点で２０名程度にまで減少した。 ○車中泊は５月１日時点で解消した。 ○５月２日に学校の授業が再開した。
第３陣 ５月４日～ ５月８日	○５月８日に避難所は閉鎖となったが、その時点で避難者は２０名程度いた。

２ 公的機関の支援状況

現地視察時 ４月２３日	○北九州市からの職員２名が常駐している。 ○学校関係者は必ず１人が夜間対応を行っているほか、校長先生とキーパーソンの教員が積極的に支援している。 ○自衛隊もこまめに巡回してくれている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○４月２８日より熊本市職員が２４時間１名常駐（１２時間交代）している。 ○学校関係者もローテーションを組んで対応している。 ○近くで自衛隊の炊き出しがあり、それを定期的にもらっている。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○第１陣の状況から変化なし。
第３陣 ５月４日～ ５月９日	○第２陣の状況から変化なし。

３ 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 ４月２３日	○熊本大学の学生が必要な物資の調査を行い作成したリストをもとに、車で中央区の物資集積・分配施設に取りに行っている。
第１陣 ４月２７日～ ４月３０日	○熊本大学、卒業生、在校生などのボランティアが積極的に活動している。
第２陣 ４月３０日～ ５月４日	○第１陣の状況から変化なし。
第３陣 ５月４日～	○第２陣の状況から変化なし。

5月9日	
------	--

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者の窓口として様々な業務の手伝いや、炊き出し、物資（水）を取りに行くなどの業務を行っている。 ○物資置き場が場外にあり、24時間体制で見張りをしている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の業務に加え、自衛隊から送付される支援物資の整理を行っている。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣の状況から変化なし。 ○5月8日に避難所閉鎖に係る支援物資の整理や清掃等を実施した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月23日	○水は出していないがトイレは使える。 ○ガスは復旧していない。 ○車で5分程度の場所にコンビニあり。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○4月29日から水が利用可能になった（飲料水としては使用していない）。 ○4月29日からガスも一部復旧し始めた。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況に加え、都市ガスは徐々に復旧しており、それと同時に避難所を出る避難者が多くなっている。なお、LPガスは近隣の燃料店から供給を受けている。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月24日	○熊本市の公用携帯により北九州市の職員が区への定期連絡を行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市の公用携帯により熊本市の職員が区への定期連絡を行っている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣の状況から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○体育館内の避難者の居住スペースで就寝している。就寝時間は23時～5時まで。 ○食事は救援物資をもらえるが、不足があれば車で5分のコンビニで調達している。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月9日	○第2陣の状況から変化なし。 ○銭湯まで車で行った。

8 その他

第1陣 4月27日～ 4月30日	○熱心に手伝いをしてくれる人が多いが、各自が勝手に動くので無駄が多い。 ○支援物資の中に野菜や果物もあった。
------------------------	---

以上

□ 避難所運営状況報告書（壺川小学校／熊本市中央区壺川 1－4－5）

1 避難所（避難者）の状況

現地視察時 4月23日	○避難者数は夜間約100名（昼50名）いるが、減少傾向にある。 ○避難者に高齢者や全盲の方がいるため、トイレの際には付き添いを要している。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○避難者数は4月30日の時点で夜間約60名（昼25名）となった。 ○避難所は体育館のみで、仕切り等はない。 ○5月10日の学校再開に向けて準備を進めている。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難者数は減少し、5月3日の時点で夜間38名（昼10名）となった。なお、昼間には数人がディサービス利用のため避難所を離れている。 ○5月2日に今後の避難所についての説明会を開催した。この説明会は、避難所の閉鎖を前提とするものではなく、より良い環境の避難所への移動等、避難者の希望を聞くもの。 また避難者の状況により、他の避難所との統合も視野に入れたものであった。 ○仕切りのなかった避難所に、男女更衣室用と授乳室用に簡易テントを3つ設置した。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月6日に熊本市中央区の管理職が来所し、避難者に避難先への移転説明を行った。 ○避難者数は、5月6日の時点で夜間35名（昼15名）程度となった。指定避難所以外の避難所が5日に閉鎖されたことにより若干増加したとみられる。 ○拠点避難所等の整備等に伴い、5月8日の時点で避難者数は12名、9日以降は、夜間15名（昼2～3名）程度となった。 ○5月10日に学校再開（再開後一週間程度、児童は保護者を伴い集団下校の予定）。 ○壺川小学校避難所は、閉鎖予定なし。

2 公的機関の支援状況

現地視察時 4月23日	○熊本市職員が24時間1名常駐している。 ○校長先生とPTAが中心となって運営している。職員室に先生が1名は常駐している。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○熊本市職員の支援に本市職員が加わり、12時間交代で2名が常駐となった。 ○学校の支援は現地視察時と変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○5月2日に支援窓口を設置した。この対応のため8時30分～21時の間は、熊本市職員が2名体制となった（夜間は依然として1名）。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○熊本市の職員のうち1名が5月5日から看護師となり、8時30分～18時まで常駐することとなった。 ○5月9日に学校再開に向けて、行政職員（本市職員を含め）と学校関係者との打ち合わせを実施し、避難所として使用できる学校施設の場所等を確認した。

	○5月9日に炊き出しは終了。避難者に対しては、今後支援物資（おにぎり、カップ麺等）で対応することとなった。
--	---

3 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

現地視察時 4月23日	○校長先生とPTAが中心となって、各班の編成やルール作りなど、避難所の運営を自主的に行っている。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時の状況から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の状況から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣に状況から変化なし。

4 川崎市職員の従事内容

第1陣 4月27日～ 4月30日	○支援物資の搬送・管理、避難者からの相談等、熊本市職員の補助に従事した。 ○4月30日からは、上記に加え、罹災証明に関する相談業務を行った。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣の業務に加え、車いすの避難者へのトイレ介助や夜間緊急対応、自衛隊等からの物資の管理や、避難者の個別具体的な要望に応じ、車で支援物資を取りに行く等の業務を行った。 ○基本的に昼間のみの対応とし、夜間は、緊急対応のほかは、熊本市職員の仮眠のため2時間程度、1名が対応したが、4月30日には心臓に持病がある方が国立救急センターを受診することになり、送迎のため翌2時頃まで対応した。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣の状況から変化なし。 ○5月8日に熊本市職員の要請を受け、職員1名が近隣の拠点避難所「市立総合体育館」で設営の手伝いを行った。 ○本市担当の避難所でなくなることに伴い、第4陣に対し、関係物品を京稜中学校に引き継ぐよう指示した。

5 ライフラインの状況

現地視察時 4月23日	○水は出ているが飲用水として使用できないと思われる（水の支援は充足している）。 ○トイレは使える。 ○ガスは復旧していない。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○水は出しており、校舎内にあるトイレを使用している。 ○4月29日に水質検査を実施した。 ○4月30日にガス点検があった。

第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月5日の時点でライフラインは全て復旧した。

6 避難所と本部との通信手段

現地視察時 4月23日	○熊本市の職員が公用携帯で、毎日区への定期連絡を行っている。 ○物資等の手配など、区への要望もできる。
第1陣 4月27日～ 4月30日	○現地視察時から変化なし。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○第1陣から変化なし。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○第2陣から変化なし。

7 川崎市の職員の従事環境

第1陣 4月27日～ 4月30日	○4月27日の時点では、常時受付体制をとっているため、体育館の中で仮眠した。職員が仮眠する場所の確保が必要となっている。 ○4月28日から、川崎市職員は12時間交替での対応となり、「ウエルパルクまもと」の利用も検討するが、大人数で寝るよりプライバシー確保できる車中（レンタカー）での仮眠を選択したが、睡眠不足の状況となっている。 ○近くの銭湯は4月28日から交代で毎日行っている。 ○食事は、避難者用の炊き出しをいただいている。炊き出しの内容は、支援物資のレトルト食品を加熱したものが中心、学校再開予定の5月10日までの予定。
第2陣 4月30日～ 5月4日	○教室等、他の仮眠場所は確保できず、体育館内で仮眠を取っている。但し、基本的に夜間の従事がないため、睡眠不足は改善の方向にある。 ○食事は、避難者用の炊き出しのほか、不足分は、近隣のコンビニに等で適宜購入している。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○5月9日に炊き出しが終了したため、食事は、支援物資のほか近隣のコンビニに等で調達している。

8 その他

第1陣 4月27日～	○熊本市の職員が入れ替わりで対応しており、継続的な支援になっていない様子。
---------------	---------------------------------------

4月30日	
第2陣 4月30日～ 5月4日	○避難所開設当初から、セクハラの問題があった模様。プライバシーの配慮が必要。
第3陣 5月4日～ 5月11日	○学校が休校のため、子どもたちが昼間に遊びに来ている。 ○テレビ局の取材が入った。 ○県会議員などの訪問があった。

以上

□ 拠点避難所運営状況報告書（はあもにい／熊本市中央区黒髪３－３－１０）

１ 避難所（避難者）の状況

第４陣	○避難所の集約により、拠点避難所として設置された。
５月１１日～	○避難者は４６～４９名（うち男性２～３名、女性４３～４６名）
５月１８日	○避難者は登録制となっており、ほぼ高齢者となっている。

２ 公的機関の支援状況

第４陣	○熊本市職員は、昼間は２名、夜間１名が常駐している。
５月１１日～	○熊本市市民病院の看護師２名が２４時間常駐している。
５月１８日	

３ 避難者や市民ボランティアによる運営への参画状況

第４陣	○ボランティアによる炊出しにより、何日か食事の提供が行われた。
５月１１日～	
５月１８日	

４ 川崎市職員の従事内容

第４陣	○入館者の受付、警備、食事の提供、片づけ、館内清掃などに従事した。
５月１１日～	
５月１８日	

５ ライフラインの状況

第４陣	○ライフラインはすべて復旧している。
５月１１日～	
５月１８日	

６ 避難所と本部との通信手段

第４陣	○熊本市の公用携帯で、熊本市の職員が区への定期連絡や物資の手配などを行っている。
５月１１日～	
５月１８日	

７ 川崎市の職員の従事環境

第４陣	○７名で８時間勤務のローテーションを組んで対応している。
５月１１日～	○食事は、外食若しくは弁当を購入している。
５月１８日	○施設に風呂はあるが避難者用のため、銭湯を利用している。

８ その他

第４陣	○女性の避難者多いため、熊本市職員は女性を中心に配置されている。
５月１１日～	○食事は施設内の食堂で行うようになっているが、熱中症対策で、飲み物だけは避難場所でとることが可能としている。
５月１８日	

	○空調設備はあるが、場所により効きの悪い場所がある。
--	----------------------------

以上